



経済団体等との 幅広いネットワークの構築

～応急手当普及啓発とAEDの設置を促進するための取組～



京都府京都市 安心救急ネット京都
推進会議議長 向井 博一

1 安心救急ネット京都とは

平成20年8月、市内の経済団体、観光関係団体、商店街組合、事業所及び消防機関が連携して、応急手当の普及啓発やAEDの設置をより一層推進し、誰もがAEDを使用した応急手当が実施できる「安心・安全のまち京都」をつくるために、事業所間のネットワーク組織として設立されました。令和元年8月末現在、約1,300の事業所が登録されています。

安心救急ネット京都のロゴは、京都のイメージカラーである紫で彩られ、御所車をイメージした背景が色を添えています。それらを包み込むように配置された3色の玉には、赤「積極性」、緑「安心・安全」、青「信頼」という意味が込められています。



安心救急ネット京都のロゴ

2 AEDの設置促進について

平成16年7月に、厚生労働省が一般市民によるAEDの使用を解禁したことで、公共施設を中心にAEDが設置されてきました。しかし、平成20年3月時点における市内のAED設置数が約1,200台と低調であったことから、設立された安心救急ネット京都を構成する団体等を通じてAEDの設置を勧奨してきました。その結果、令和元年8月時点では、

約3,200台ものAEDが設置されています。

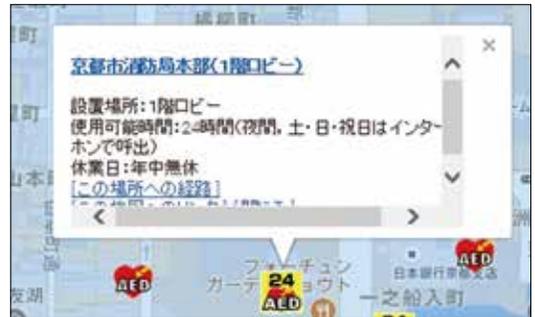
3 AEDマップの活用

歴史ある京都は、日本を代表する観光都市であり、国内外から年間約5,300万人もの観光客が訪れます。安心救急ネット京都では、市民や観光客にAEDの設



蓄光型AEDマーク

置場所を知っていただくために独自のAEDマークを作成し、交付してきました。AEDが24時間使用可能な事業所には、夜間でも容易に確認できるように、「蓄光型AEDマーク」を配付し、玄関等の見やすい場所に掲出していただいています。また、消防局ホームページにおいても「AEDマップ」を公開しており、24時間使用可能なAEDや業態別の検索ができるなど、誰もが安心してAEDが利用できる環境づくりに努めています。



AEDマップ

4 応急手当普及啓発の取組

(1) 救急フェスタの実施

救急医療週間に合わせて、毎年、市民防災

センターで救急フェスタを開催しています。救急フェスタでは、安心救急ネット京都の登録事業所で発生した心肺停止事案について事例発表が行われ、バイスタンダーの行動内容や心の変化などについて、医師の助言を交えて情報交換を行いました。聴講者からは、バイスタンダーが受ける「心の負担」についての質問が寄せられ、医師からは、「蘇生された場合とそうでなかった場合で、受ける影響は大きく異なります。深刻なのは後者であり、一人で抱え込まずに信頼できる人に話を聞いてもらうことで心の負担は大きく軽減されます。」などと、体験談を交えて回答いただきました。

応急手当の普及啓発では、事業所独自で救命講習を実施する体制や取組について情報を提供していただきました。会場では、「我が社でも実施したいが、ほかの職員の協力が得づらい」など、苦勞されている点や改善策について、積極的に情報共有が図られました。

わが職場のセーフティーな取組み

中国で救命講習!

山科区にある福田金属防犯工業株式会社(総務部安全衛生グループ)の中山義久さんに、昨年、中国工場で、現地従業員約70名(2日間)に対して行った救命講習についてお伺いしました。

会社紹介
福田金属防犯工業株式会社は、毎年、社内でのAED講習、山科区防犯と普通救急講習を開催しており多くの従業員が受講済み。平成17年よりAEDを普及し、救急連絡人野村会社で所有する等、安心安全への取組みが最優先に熱心な会社です。



事業所独自の救命講習の事例

(2) 応急手当セミナーの実施

京都鉄道博物館において応急手当セミナーを開催しました。安心救急ネット京都の登録事業所に勤務する応急手当普及員が指導者になり、約100名の来館者に対して普通救命講習を実施しました。指導者の方々は、普段は自社で救命講習を実施されていますが、この日は市民が対象ということもあり大変緊張されていました。しかし、次第に話し方も冗舌になり、最後は熱心に指導していただきました。セミナーでは、祇園祭前祭の山鉦巡行中

に、鉦の曳き手が心肺停止状態になった際に、応急手当を実施されたバイスタンダーの方をパネリストとしてお招きし、当時の状況や心境について、貴重なお話を伺うことができました。



京都鉄道博物館での救命講習

5 会報の発行について

安心救急ネット京都では、年3回、会報を発行しています。会報では、救急フェスタなどのイベント情報、救急事故の予防方法、AEDの保守管理についての情報や、AEDのバッテリー・電極パッドの期限切れ、リコール情報などについて注意喚起を行っています。

6 今後の取組

現在公開されているAEDマップは運用後10年が経過していることから、掲載情報に変更が生じている場合があります。安心救急ネット京都では、登録事業所の協力を得て掲載情報を順次更新していくとともに、より多くの方にAEDと応急手当の重要性を理解していただけるよう、今後も啓発を実施してまいります。

